

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月1日

文部科学大臣殿

国立大学法人島根大学長

服部 泰直 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	島根 大学	②所在地:	島根県松江市西川津町1060		
③課程名:	ふるさと魅力化フロンティア養成コース	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	平成28年4月1日
⑥責任者:	教育開発センター長	⑦定員:	15	⑧期間:	1年間
⑨申請する課程の目的・概要:	<p>2014年5月に、2040年までに島根県と東北4県で市町村の8割以上が「消滅可能性都市」になると推計されました。これは、日本の多くの自治体でやがて迎える状況が、過疎化が進む地域で先鋭的に顕現しているもので、過疎化問題の最先端地である島根県には、これに対処するユニークな方法で地域活性化に果敢に試みる自治体があることも有名です。</p> <p>本プログラムは、このような独自性の高い取組みを、本学の教育・研究資源と組み合わせ、「へき地にしかないもの＝へき地に先端的にあるもの」と捉え、その再発見・利活用・発信を通じて地域を魅力化していく試みを「教育プログラム化」し、地域教育魅力化のリーダーを養成するものです。</p> <p>具体的には、高校を中心とする「教育の魅力化」と地域振興とを結びつけ、地域活性化に取り組む隠岐郡海士町及び飯石郡飯南町と連携し、大学の教育・研究資源と組み合わせながら教育再開を柱とした「ふるさと魅力化フロンティア」を養成する1年コースを設置しました。同様の課題を抱えた全国各地から、地域教育魅力化を通して地域活性化に取り組む意欲のある社会人を募集するものです。</p>				
⑩4テーマへの該当の有無	地方創生 (地域活性化)	⑪履修資格:	高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者で、教育再開による地域活性化に熱意があり、地域教育魅力化を通して地域活性化を目指す者。		
⑫対象とする職業の種類:	地域教育コーディネーター(地方公共団体職員等)				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能)		(得られる能力)		
	地域の魅力発見・発信能力及び学校魅力化に係る調整能力		教育をキーワードとした地域活性化能力		
⑭教育課程:	「地域教育基礎論」により、地域及び教育に係る基礎的な知識を習得し、「学校魅力化論」、「魅力発信論」とそれをスムーズに動かしていくための「ひとつなぎ論」、「グローバル人材育成論」及び地域教育コーディネーターとして必要な「教育サポート実習」、「地域コーディネーター実習」と「魅力再発見実習」を行うことにより、コーディネーターの実践的なスキルを修得させる。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	「教育サポート実習」又は「魅力再発見実習」を必修とし、「修了レポート」も含め120時間以上受講した場合				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書				
⑰総授業時数:	192.5 時間	⑱要件該当授業時数:	170	該当要件 1,2,3,4	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数: 88%
⑳成績評価の方法:	講義・演習、実習及び修了レポートについて、それぞれ評価することとしており、各科目の評価の平均をもって総合評価とする。				

②①自己点検・評価の方法:	本プログラムの評価の方法としては、応募人数、受講者数、受講者の地域での取り組み本数及びその効果もどのようであったのかを検証し、評価、改善につなげることとしている。 また、実習プログラムの効果検証を大学と連携2町と「連絡・調整会議」を定期的に行い、協働で点検・改善をしていくこととしている。
②②修了者の状況に係る効果検証の方法:	本プログラムは、「人材育成プログラム」であり、育成された人材が実際にどのように地域課題に取り組んだのかについてもフォローすると共に追跡調査し、本プログラムの有効性等点検し改善につなげる。
②③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 本プログラムは、地域活性化に取り組む隠岐郡海士町及び飯石郡飯南町と連携し、大学の教育資源と組み合わせながら教育再開を柱とした「ふるさと魅力化フロンティア」を養成する1年コースを設置し、両自治体の成功事例のノウハウを取り入れるものであり、「連絡・調整会議」で点検・改善をしていく仕組みとしている。 (自己点検・評価) 修了生の、各自が地元の地域でいくつのプログラムに取り組み、どのように展開し活性化したのかも含め、本プログラムの有効性を点検する。
②④社会人の受講しやすい工夫:	「地域教育基礎論」についてはオンデマンド授業 講義・演習(各22.5時間)については、約1/3を松江キャンパスでの対面授業、約2/3は遠隔ライブ授業 実習(各20時間)については、海士町・飯南町での現地で集中的に実施
②⑤ホームページ:	http://cerd.shimane-u.ac.jp/fmf/

事務担当者名:	学務課長 倉橋幸	所属部署:	島根大学教育・学生支援部学務課
連絡先:	(電話番号) 0852-32-6059 (E-mail) kurahasi@jn.shimane-u.ac.jp		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。